第 64 回日本分娩監視研究会プログラム

日　時：2026 年 6 月 27 日（土）13:00～17:00　（12:30　受付開始）
場　所：横浜市立市民病院 大講堂（横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1）
参加費：医師　5,000 円　　助産師/看護師　3,000 円　　学生　1,000 円

12:30～　　受付開始

13:00～13:05　開会あいさつ
当番幹事　横浜市立市民病院　母子医療センター/産婦人科　倉澤健太郎

13:05～14:05　この CTG をどう読むか
座長　横浜市立市民病院　4A 病棟　園田かおり
横浜市立市民病院　母子医療センター/産婦人科　倉澤健太郎

（1）「34 週前期破水管理入院中に一過性徐脈が頻発し緊急帝王切開に至った一例」　13:05～13:20
横浜市立市民病院　畠芽依

（2）「基線細変動減少所見と中等度所見が繰り返し現れたため介入の判断を迷った一例」13:20～13:35
東京かつしか赤十字母子医療センター　深見武彦

（3）「未陣発時から頻発している一過性徐脈の判読に苦慮した一例」　13:35～13:50
横浜市立市民病院　島田綾子

（4）「無痛分娩下のオキシトシン点滴による陣痛促進中に NRFS を認めた一例」　13:50～14:05
横浜市立大学附属市民総合医療センター　総合周産期母子医療センター　髙橋優太郎

14:05～14:25　休憩

14:25～14:35　日本分娩監視研究会　総会

14:35～15:35　一般演題
座長　横浜市立大学附属市民総合医療センター　総合周産期母子医療センター
小畑聡一朗
横浜市立市民病院　産婦人科　岩田亜貴子

（1）「胎児徐脈と血性羊水で搬送を決定づけた助産所分娩の一症例」　14:35～14:45
ウパウパハウス岡本助産院　平﨑美季

（２）「新生児に低体温療法が必要であった臨床的絨毛膜羊膜炎（CAM）の一例」　14:45～14:55
藤沢市民病院　産婦人科　持丸綾

（３）「計画無痛分娩において分娩進行が停滞し苦慮した症例」　14:55～15:05
堀病院　荒木孝恵

（４）「無痛導入後の胎児一過性徐脈に対する助産師の対応の検討」　15:05～15:15
東京都立荏原病院　池本紗季

（５）「CTG 異常から臍帯潰瘍合併を疑った先天性十二指腸閉鎖症の 1 例」　15:15～15:25
東京大学医学部附属病院　女性診療科・産科　北村翼

（６）「人工破膜・羊水注入後に超緊急帝王切開が必要となった多産婦の症例」　15:25～15:35
福島県立医科大学付属病院　横山優希

15:35～15:55　休憩

15:55～16:55　特別講演
座長　横浜市立市民病院　母子医療センター/産婦人科　倉澤健太郎

講演 1 「CTG からみた安全な分娩管理：産褥出血搬送例に学ぶ危険なサイン」　15:55～16:25
演者　横浜市立大学附属市民総合医療センター　総合周産期母子医療センター
小畑聡一朗

講演 2 「胎児心拍数陣痛図の判読と対応」　16:25～16:55
演者　東海大学医学部　専門診療学系産婦人科学領域
石本人士

※特別講演は、日本専門医機構「産婦人科領域講習受講単位」が取得できます

16:55～17:00 次回当番幹事あいさつ
帝京平成大学　ヒューマンケア学部看護学科　坂田清美

閉会のあいさつ
当番幹事　横浜市立市民病院　母子医療センター/産婦人科　倉澤健太郎

【産婦人科医師の皆様へ】
・JSOG アプリのデジタル会員証または JSOG カードをご使用いただけます。
・事前に・JSOG アプリをダウンロードいただくか、・JSOG カードを必ずご持参ください。
・e 医学会カード（UMIN カード）はご使用できませんのでご注意下さい。